
打ち碎かれた夢と墜ちた街と

ロード 14 / 14

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

打ち碎かれた夢と墜ちた街と

【Zコード】

Z1545B

【作者名】

ロード14／14

【あらすじ】

みんなが子供の頃どんな夢を見ていた?今はどんな現実を突きつけられた?とある街のアパートの一室で一人の男が語る?皮肉な人生。

ガキの頃の俺の夢はたいそうなもんだったさ。

周りがメジャーのスーパースターを夢見たりしてた中で俺はでっかい会社の社長になることが夢だったんだ。王様のようになつて生活したかつたんだ。

今じゃボロアパートでバー・ボン引つ掛けてるがな。

だけどよ、夢を見るなとは言わねえ。夢を見るのは勝手なんだよ。いや夢を見て生きてくれよ。かつての俺達のよつこいでっけえ夢をよ。

俺達がガキの頃は街は人であふれかえっていたんだ。ショッピングモールにはうますぎなバー・バーがあつてよ。チョコクッキー・アイスなんて食べれたらその日一日は幸せに感じたんだ。

俺等は何をやつても殴られなかつたし成功もした。ダチはみんな家族を愛していた。俺だって愛していた。

俺達のガキの頃は輝いていたんだ。今もそうでなくてはいけないんだ。

今の子供達の人生はこの町と同じだ。引き裂かれ捨てられ。誰がこんな風にしちまったんだい？

ああクソ。野良猫が鳴いてやがる。外は寒いってのによ。ホームレスどもはドラム缶に焚き火をして数人集まって暖を取つてやがる。

俺の夢だつて大したもんさ。でも今じゃ部屋にテレビと冷蔵庫とベッドを置くので精一杯だ。とんだ王様だ。惨めな王様さ。

一体この街はどうなつちまつたんだ？

かつての輝きが失われ。「ミミ」と浮浪者ばかりがあふれかえるようになつちまつた。

しかもこの街で空氣を吸うには金が要るんだよ。

べつにいいんだぜ？

こんな街なんていつ出て行つてやつてもいいんだぜ。

でも俺がソレをしないのは、俺がチキンだからなんだ。

もし俺がチキンじゃなかつたら今頃こんなところにないよ。今頃こんな夢を追うようなことを言わないよ。俺は頂点に立つていたはずなんだ。でも俺は地を這つている。俺がガキの頃は何をやっても

成功するはずだつたんだ。

おい、誰がこの街をこんなにしちまつたんだ？

親愛なるパパとママは主の下へ呑まれちまつた。

悲しくなんてなかつたさ。これでやつと開放されたんだからな。親父は苦しい苦しいって薬に手を出しちまつた。お袋も生活のためにいろんな犯罪に手を染めたさ。

でもいいだろ？この街じゃソレが当たり前なんだから。俺が一人をこの街から開放してやつたとき親父は気持ちよさやつてヨリリッてたよ。

キヤテラックを運転して、炭酸の効いた冷えたビールを飲みながら街を出て行きてえよ。でもソレすら叶わないんだ。惨めな王様さ。

今の子供達は明日を夢見るより今日を精一杯頑張つてゐる。正しいけど、健気だけど、ソレは違うんじやねえのか？

ガキは夢を見るんだ。明日を見て大きくなれるんだ。だからこんな街なんかにいたらいけない氣がするんだ。

大人たちは未来も見ずに手を振る過去ばかり振り返つて見てゐる。俺は違うぜ。でつゝえ夢を追つてやるんだ。追つてあつてこの街を出て行くんだ。

この街がいいとこ、う老人もいるけど、正直俺はこんな感じで一生を終わらせたくないね。

ダチには悪いが俺はこの町を出て行こうと思つてるんだ。お前等も出たくないのか？

お前等もチキンじゃなかつたらきっとこんな街なんておさらばしてるだろ？ガキの頃から成功し続けた俺達は俺達だけで生きていけると思つたさ。

今はダチなんてダチはもついない。

ケイトはスターになるチャンスがあった。でもソレを掴もつと彼女は夫と子供を失つた。彼女はその時はそれで幸せだったんだ。今は知らないけどね。

ジョンは家でマリファナ吸つて腕にタトゥーを入れている。仕事もないんじや家でギターを弾いて練習するしかないだ。

たいした夢は荒んだ現実に変わつしまつた。

サムは自分の手で命を絶つてしまいやがつた。
レベッカも薬で死んじました。

一体どうしてこの街はこんなに命を飲み込むようになりやがつた？
俺達はただ夢を持てば成功させられたはずだ！

ああそりか、俺達が街をこんなにしたのか。たいした夢ばかり見上げて地面の落とし穴に墜ちちまつたんだ。大人たちはそんな俺達を助けなかつた。

お前等も同罪だ。

俺の夢は大したものだつたさ。どつかの大きな社長になることだつたんだ。でも今じや小さな

部屋で自分の過ちに気付いている。

街の子供達は夢を持たなくともこの街で生きていけるかもしけない。
きっと夢を持つて生きていくはずだ。

俺はチキンだよ。子供達に自分達のしでかした過ちを犯して欲しくねえから説教しに言つて逆に殴られるのが嫌だからな。

俺はいい加減だよ。自分が死んだ後のことなんてどうでもいい。
俺はバカなんだよ。チキンの俺が街を出ていけても浮浪者かゴミ以下の死体になるだけだ。だから俺は眠るんだよ。永遠に。自分のベッドの上でな。

子供達が拾つたクオーター（25セント硬貨）を横取りするようなクズにはなりたくないね。

俺は疲れちまつた。あばよ。

(後書き)

初めての短編です。アメリカっぽく仕上げました。よろしければ評価をお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1545b/>

打ち碎かれた夢と墜ちた街と

2011年1月5日03時44分発行